

2023 年度 第 1 回企画環境委員会 議事録

【日 時】 2023 年 4 月 11 日(火) 13:30 ~ 17:00

【会 場】 日本代協 事務局

【出席者】 松本委員長

北海道	広川	北東北	伊藤	南東北	佐々木	上信越	片桐
東関東	五木田	南関東	大久保	東 京	西條	東 海	井戸
北 陸	川尻	近 畿	是 洞	阪 神	中塔	東中国	阿部
西中国	村松	四 国	開出	九州北	麓	九州南	谷口

【オブザーブ】 小保副会長

【事務局】 小見常務、大谷部長 【司会】広川副委員長 【議事録】事務局

【委員会の要旨(確認、決定したこと)】

1. 募集現場のモニタリングの収集
2. ジギョケイチラシ(中小機構)必要部数の確認(担当ブロック)
3. ジギョケイセミナー 6月開催(社労士、リスクマネジメントについても予定)
4. 全国一斉 Zoom ミーティングの開催(7/4)

議 事

I. 挨拶

1. 松本委員長挨拶

- ・このメンバーとなり初めて全員がリアルで集合することができた。年に 4 回は顔を合わせて、ざっくばらんな意見交換ができるようにしたいので協力願いたい。
- ・三冠王ニュースが手元に配布されているが、最後まで目標を追い続けていただき感謝申し上げる。一昨年度はジギョケイの数値はさんざんであったが、昨年度は BCP もジギョケイも目標の約 6 割、社労士認証については約 5 割の目標を達成することができた。初めての取組で進捗が思わしくなかったが、重要なことは地道に時間をかけて推進していくことだと思うので引き続きお願いしたい。今年度はさらに達成率を上げていきたい。
- ・3 年前に企画環境委員長となったときはコロナ蔓延がスタートした時であり、2 年間は委員のメンバーと会うことがなく取り組んできた。もともと企画環境委員会は不公正募集と代理店賠償、チャネル間競争力が諮問事項に挙げられていたが、私の就任の際に代理店賠償が外れて 2 本柱となった。1 年目はコロナの影響もあり、オンライン募集における共通化・標準化への取組と提携事業者の推進を中心に行ってきた。2 年目にジギョケイが 3 冠王に入り、社労士診断の認証を開始、3 年目はジギョケイと社労士診断が 3 冠王項目となり、リスクマネジメント講座が開始され、今の推進事項(代理店価値向上策の推進)となっている。
- ・今年度については、新たな取り組みとして JSA-S1003 を推進していきたいと考えている。これまでは、どちらかという守りの委員会だったと思うが、チャネル間競争力、代理店の価値を高めていくことに軸足を置いていかなければならないというミッションを諮問事項として受けてこ

れまでやってきたつもりである。

- ・これからも代理店の価値を高めることによって業界の魅力を高めていくことが重要だと思っているので、この一年皆様の力を借りていきたいので、よろしくお願いします。

2. 司会進行・議事録作成者の指名

- ・司会進行に広川副委員長、議事録作成者に事務局が指名された。

II. 報告事項

1. 報告事項

(1) 2023 年度事業計画、委員会諮問事項報告

松本委員長が、事前配信した日本代協 2023 年度 事業計画のうち公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進についての説明を行った。

- ・個社におけるガバナンス体制の確立の一助として JSA-S1003 の情報を発信する。
- ・公平・公正な募集環境の整備
- ・業界の共通化・標準化に向けた検討・提言
- ・代理店の価値向上策の推進にあたっては、数値目標の達成を意識しながらも、取り組む目的や意義、その実用性を忘れることなく、結果的に代協会員の価値向上につながることを第一義に考えて推進する

松本委員長が、2023 年度 企画環境委員会に対する諮問事項について説明した。

- ・代理店の価値向上策の定着と更なる推進(リスクマネジメント講座・事業継続力強化計画認定申請・社労士診断認証制度等)
- ・募集現場の実態のモニタリングと対応策の実施(不適正募集、特定修理業者対策、共通化・標準化等)

(2) 2022 年度 第 2 回活力研報告

事務局より、3/1 に開催された「活力研」について報告が行われ、以下補足をした。

- ・今回は、「あるべき代手ポイント制度について」「各保険会社から専業代理店に期待すること」の 2 つのテーマで論議した。日本代協HP会員専用書庫に公開済みの議事録と資料ならびに報告動画を掲示してある。

松本委員長が下記補足を行った。

- ・顧客本位の業務運営の視点から手数料ポイントを考えたときに、どうしてもリスクマネジメント・乗合問題が出てくるが、顧客本位とメーカー側からの期待値のギャップが少なからず存在しているのだと感じた。例えば顧客本位の観点からリスクマネジメントの視点からリスク保有やリスクコントロールによる保険以外での対応を提案するとメーカー側との利益相反が生まれてしまう。乗合においても法人マーケットで、より顧客本位を高いレベルで実現するための乗合に対して硬直的に手数料ポイントを下げるとはならず、チャンネル毎のポイントテーブルが違つように専属と乗合においてもテーブルを変えていくよう検討していただくことを要望した。

(3) 金融庁と代協会長との意見交換会報告

事務局より、3/10 に開催された「金融庁と代協会長との意見交換会」について報告が行われ、以下補足をした。

・今回は、あらかじめ「手数料ポイント制度、代理店合併・統合、乗合承認、他チャネルとの競争上の課題、その他保険会社とのコミュニケーションの中で抱えている課題について」「業務品質の高度化や顧客本位の業務運営の実践に向けた取組、工夫している点の披露」「保険会社との連携で取り組んでいる施策等の披露」「金融庁への質問事項」の4つのテーマを設定し事前に24の質問と取組事例含めて全体で32件の提出があった。同趣旨の質問は事務局から関連して紹介し、金融庁(三浦保険課長)にコメントをいただき、更問や意見を発言いただく形で進められた。議事録と資料ならびに報告動画は各代協会長・事務局にメール配信してある。

松本委員長が下記補足を行った。

・意見交換会の後に懇親会を行い三浦課長(金融庁)も参加された。そこで、金融庁に対して、生保協会の業務品質評価についてはハードルが高く、生保だけであるため、生損保を取り扱う代理店には取組が難しい事を説明し、日本代協としては、JSA-S1003 の取組を推進していこうと考えている旨を伝えた。

(委員からの質問)

・意見交換会のサマライズ版を作成して欲しい。

(事務局)内容をしっかり理解していただくにはサマライズ版では伝わらないので、作成は難しい。

・リスクマネジメントを行う上で、顧客からコンサルコミッションをもらうという考え方について意見が聞きたい。

(松本委員長)顧客からコンサルフィーをもらうことは、どんどん行うべきだと思う。保険会社は、あくまでも保険の販売手数料を支払っており、コンサルフィーを払うわけではない。

また、保険会社はリスクマネジメントや財務の教育は行わないため、代理店が自ら学び、ノウハウを構築し、顧客本位を追求する必要がある。

本来であればコンサルフィーをお客様からもらうべきだが、多くの代理店は、これを差別化要素として活用していることが多いと思われる。

III. 審議事項

1. 募集現場の実態のモニタリング

1件の不公正募集(ディーラー)案件を共有し、案件を提出した委員より補足があり、現地で対応した旨報告があった。

・委員より事案の補足があり、いずれも現地で対応した旨報告があった。

・報告されていないが、住産業者で耐震構造証明書の費用を割り引くために保険勧誘されたと

の情報も上がっている。

SNSに配信された、特定修理業者と思われる広告が紹介された。

・情報提供であり、被害を受けたものではない。

(松本委員長より補足)

・不公正募集の情報が減ってきているが、本当に減っているのであれば数を集めることが目的ではないので問題ないと思う。ただ、情報を上げてフィードバックが無いから情報を上げてこないのであれば問題だと思うので、皆さんの意見を聞かせていただきたい。

(主な意見)

- ・フィードバックが無いという意見も多くあるが、情報を出したところで代協は何をやってくれるのか、何もなければ出して意味がないとの意見もある。
- ・お客さまは不利益と思っていないので、募集行為に問題があるとしても詳細を聞き出すことが難しい。保険会社に報告しても詳細情報がなければ注意もできないと言われてしまう。
- ・保険会社に申し出て担当者には知らぬ存ぜぬで話が進まない。我々がお客さまをしっかりグリップしておくしかないと思う。
- ・大型モーターの事例についても保険会社がどのような対応(処分)したのかがわからない(開示されない)。
- ・インセンティブ(ノベルティ)については一般的に1,500円程度までは認められている。

(松本委員長より)

・無理に情報を集めることが目的ではないが、現場で起きていることは情報としてしっかり上げていただきたい(対応状況含めて)。

2. 代理店の価値向上策推進(2023年度)について

松本委員長より、代理店価値向上策に関する変更点について説明があった。

- ・日本代協ホームページのトップページにバナーを設定し、ジギョケイ・社労士・JSA-S1003に関わる情報を集約したので活用していただきたい。
- ・リスクマネジメント講座について代協会員であれば受講できるように日本代協ホームページのトップページに新たに設置したバナー及び日本代協アカデミーのポータルサイト内からの申し込みを可能とした。これに伴い、料金改定を行った。日本代協アカデミー会員は従来通り75%割引、代協会員は50%割引で受講可能とした。

3. 代理店の価値向上策(ジギョケイおよびBCP作成推進)について

広川副委員長より

- ・2022年度の取組結果は、ジギョケイ2,251件の目標に対して1,347件(達成率59.8%)、BCP3,431件の目標に対して2,066件(達成率60.2%)であった。
- ・各ブロックでのセミナー活用等の取り組み事例を聞かせていただきたい。

(主な意見)

・福岡では3回に分けて、各20~30人規模で、その場で申請可能となる状況までレクチャーを受けた。参加条件として事前にGビズ登録を必要としたことと、ひな形を使用して多少のアレンジで済んだのでスムーズに進んだ。ひな形に入力しただけだと意味がないのではないかという意見もあったが、実際に打ち込んでいくと学習にもなるし、気付きにもつながるので問題ないと思った。

・大阪では損保大手4社の認定代理店をリストアップし103店の会員に手分けしてワークショップ開催の案内を行った結果38代理店からの申し込みがあった(参加は29代理店)。内容は実践的なセミナーであり、参加代理店の事業拠点リスクを記入する項目では防災科研の「地震10秒診断」や国交省の「重ねるハザードマップ」を使って自社の事務所リスクの洗い出しを行った。今後、次回以降開催の参加代理店の数を増やしていくかが課題であるが、無料ではなく有料とした方がジギョケイ認証に繋がるのではないかと、三冠王の数字を追うのではなく実際に顧客に提案できる会員を増やしていきたい。

広川副委員長より

・ジギョケイの更新について先日自社で行ったが、更新であるのに新規申請の入り口から入るなど非常に分かりにくかった。更新案内もGビズ申請していれば更新案内(半年前と3か月前)がある(紙ベースの場合は案内ない)。更新しないとリストから消えるので注意。

松本委員長より

・中小機構作成の新しいパンフレットが出来上がったので必要部数をヒアリングしていただければ、中小機構から送付していただける。directにて報告いただきたい。
・顧客向けジギョケイDMを富士フィルムと連携して作成する取組を行っていく(有料)など、今年度は顧客への提案を進めていきたい。
・本年度も6月にセミナーを開催し粕谷室長にも講演いただきワークショップ開催を提案していただこうと考えている。

小見常務より

・和歌山と滋賀の地銀、信金では経営として、地域のお客さまに何を提供できるかを考え本気に取り組み始めるようであるので、本業の我々が提案しなければいけないと思う。

4.代理店の価値向上策(社労士診断認証制度推進)について

開出副委員長より

・昨年度1,109件の目標に対して宣言企業は572件(達成率51.6%)であった。各ブロックの認定状況を見ると温度差を感じている。新たに推進チラシを作成したので活用願いたい(日本代協ホームページに掲載)。
・ブロックでの取り組みについて聞かせていただきたい。

(主な意見)

・広島では、取組趣旨をしっかりと説明したうえで、理事会・支部会の場で申請していただいた。実施・適合に向けて、まずは自らが取り組んでいこうと考えている。

- ・島根では、申請の手順書をメールに添付して申請を督促してきた結果、目標は達成できた。
- ・岐阜では、宣言した会員に QUO カードの配布と支部例会でその場での申請を行った。

松本委員長より

- ・社労士会へ明日(4/12)訪問し、今年度もセミナー開催を依頼してくる。
- ・社労士と同行し顧客訪問することも有効である(顧客に社労士がいなければ紹介するのも有効)。
- ・社労士は認証制度を知らない場合もあるが、こちらからうまく提案し共に活用していただきたい。
- ・自社には従業員がいないから宣言しないではなく、お客さまへ提案することが目的である。提案するには、まず自社が宣言していただきたい。

5.代理店の価値向上策(リスクマネジメント講座推進)について

西條副委員長より

- ・2023年4月9日時点で、基礎講座26名、リスク診断9名、保険財務2名、法人生保3名とほとんど活用されていない。
- ・今回大幅に改定を行い、ネックとなっていたアカデミー登録が必須ではなくなった(料金的にはアカデミー会員の方が安価)。
- ・三冠王項目ではないが、取り組み目標は明確にして取組み、アカデミー登録と連動して推進していきたいと思っている。
- ・また、非会員との料金設定の差があるので、組織委員会とも連携していけると思う。
- ・チラシも改定しているので活用していただきたい(日本代協ホームページに掲載)。

(主な意見)

- ・宮城では、昨年11月に委員長会議を開いて委員会合同でアカデミー登録を推進していくための討議を行った。
- ・山梨でも、他の委員長とコラボして推進している。

松本委員長より

- ・アカデミーのポータル内にもリスクマネジメント講座の申し込みリンクを設置したので、これまでよりはかなりわかりやすくなったと思う。
- ・保険はリスクマネジメントの手段であって、リスクの話ができなければいけないという側面から考えると必要であるし、保険会社もリスクマネジメントについては教育・研修を行っていない、と活力研でも言っていたので代協で学ぶしかないと思う。
- ・目標数値(リスクマネジメント2講座:3%、保険関連講座3講座:1.5%)について意見を募ったが、特に意見は出なかった。

6.代理店の価値向上策(JSA-S1003)について

松本委員長より

- ・推進の目的は、保険代理店に強く求められているガバナンス態勢の構築を実現し、持続可能な顧客本位の業務運営を実現するためである。

- ・今年度の取り組み方針としては、JSA-S 保険代理店サービス品質管理態勢の指針を企画環境委員メンバーがしっかりと把握し、会員代理店に浸透させていきたいと考えている。
- ・4/3「新日本保険新聞」1面に日本代協臨時総会の記事が掲載され、JSA-S1003 が大きく取り上げられてはいるが、日本代協として積極的に推進していくものではないので留意いただきたい(今年度は)。

松本委員長から JSA-S1003 認証制度についての説明があった。

(主な意見)

- ・ISO9000 よりも損保代理店に特化しているので、取りやすいと思う。

IV. その他情報提供・閉会

1. 情報提供および本日の到達点の確認

事務局より下記情報共有があった。

- ・日本代協事務局が 5 月末移転予定(東京駅前 「新大手町ビル」)なので次回委員会は新事務所となると思う。
- ・粕谷室長の名刺があるので、これからセミナー開催を検討しているブロックは申し出ていただきたい。

事務局が本日の決定事項を確認した。

松本委員長より

- ・年 4 回だと間延びしそうなので 11 月と 2 月に取り組み状況の共有を中心とした委員会を WEB で開催したい。
- ・また、7/4 に全国一斉会議を開催し今年度の取組を共有したいと考えている。

2. 小俣副会長所感

- ・多くの施策を推進していくうえで「保険会社から何か言われているか」「保険会社はどう思っているか」という意見があったが、製販分離になり保険会社とは明らかに立場が違ってきているので、保険会社がいちいちあれをしる、これをやれ手取足取り指導をする時代ではないのではないだろうか。我々が自分たちで考え、何が代理店にとって必要かを突き詰めていくことが代理店価値に繋がり、他代理店の差となり、お客さまサービスに繋がっていくのだと思う。保険会社から何も言われないからやらないのではなく、自分たちで頭を使って歩いていくことが必要だと考えている。
- ・JSA-S1003 について話があったが、追加で新しいものを積極的に推進する、ということではないので誤解しないでいただきたい。ただ、数年前の現状と課題に「現状維持は後退と同じである」と記載されているように、去年と同じことをしては成長がない、アンテナが高い代理店は次のものを求めてきている。
- ・また、ジギョケイにしても社労士診断にしてもフェーズが変わってきていると感じている。今までは我々代理店が取得する初期のものを推進してきたが、今は自分たちの武器として新規活動

に使っている代理店がたくさん出てきている。今後ますます代理店の価値、専業代理店としてリスクマネジメントをしっかりと行うことが、間違いなく切り口になってくると思うので、我々の武器として必要なのだということを腹落ちして推進していただきたい。

- ・なぜ、これらが三冠王の数字になっているのかという矛盾さを感じているかもしれないが、三冠王は、あくまでも各県代協の事業計画の支援策であり、一つの数値目標として置いていることを理解いただきたい。数値だけで言うと昨年より 30 代協で冠数が増えており、企画環境委員会が推進してきたジギョケイや社労士診断で三冠王を獲得して代協活動を盛り上げているのも事実であることを理解いただきたい。
- ・本日は長時間お疲れ様でした。

以上

次回以降開催日

第 2 回企画環境委員会 2023 年 6 月 26 日(月) 13:30～17:00 (リアル)

全国一斉 Zoom 会議 2023 年 7 月 4 日(火) 13:30～17:00 (WEB)

第 3 回企画環境委員会 2023 年 9 月 11 日(月) 13:30～17:00 (リアル)

第 4 回企画環境委員会 2023 年 11 月 13 日(月) 15:00～17:00 (WEB)

第 5 回企画環境委員会 2024 年 1 月 16 日(火) 13:30～17:00 (リアル)

第 6 回企画環境委員会 2024 年 2 月 19 日(月) 15:00～17:00 (WEB)

